2027年３月期
第２四半期(中間期)
決算説明資料



株式会社一蔵
東京証券取引所
スタンダード市場　証券コード：6186

2026年11月

目次

株式会社 一蔵

Ⅰ	2027年３月期第２四半期(中間期)　決算概況	P.３
Ⅱ	資本コストや株価を意識した経営に関する進捗状況	P.11
Ⅲ	トピックス	P.18
Ⅳ	2027年３月期　業績予想・株主還元	P.24
Ⅴ	セグメント別の取り組み	P.30
Ⅵ	会社概要	P.39
Ⅶ	参考資料	P.41

2027年３月期第２四半期(中間期)　決算概況

2027年３月期第２四半期(中間期)　連結決算概況

株式会社 一蔵

（百万円／%）

	2026.３期 ２Q実績	2027.３期 ２Q実績	対前中間期 増減額	対前中間期 増減率
売上高	8,405	**8,407**	1	0.0
売上総利益	5,223	**5,288**	64	1.2
販売費及び一般管理費	6,142	**5,970**	△172	△2.8
営業利益	△919	**△682**	236	—
経常利益	△927	**△685**	241	—
親会社株主に帰属する 中間純利益	△595	**△534**	61	—
EPS （１株当たり中間純利益）	△107円96銭	**△96円66銭**	11円30銭	—

和装事業の売上高は、過年度に好調に推移していたレンタル受注分の売上計上が進んだことにより、増収となりました。ウエディング事業の売上高は、施行組数及び施行単価が前中間期を下回ったことにより減収となりました。全社では微増となりました。

広告宣伝費の見直しや催事運営の効率化等による経費削減により、販売費及び一般管理費が減少し、営業利益及び経常利益は前中間期を上回りました。

また、前中間期に計上した特別利益（固定資産売却益）が剥落したものの、親会社株主に帰属する中間純利益についても増益となりました。

2027年３月期第２四半期(中間期)　セグメント別連結決算概況

株式会社 一蔵

（百万円／%）

和装事業	2026.３期 ２Q実績	2027.３期 ２Q実績	対前中間期 増減額	対前中間期 増減率
売上高	6,673	**6,747**	74	1.1
販売売上	3,248	**3,251**	2	0.1
レンタル売上	1,003	**1,138**	134	13.4
加工売上	707	**711**	3	0.6
写真売上	1,390	**1,321**	△68	△5.0
その他売上	324	**325**	1	0.4
セグメント利益	△147	**186**	333	—

ウエディング事業	2026.３期 ２Q実績	2027.３期 ２Q実績	対前中間期 増減額	対前中間期 増減率
売上高	1,732	**1,659**	△72	△4.2
セグメント利益	△403	**△486**	△82	—

＜和装事業＞

過年度に好調に推移したレンタル受注が当中間期の売上計上につながったことにより、売上高は増加いたしました。

セグメント利益につきましても、主に広告宣伝費の抑制や催事開催の精査による発送運搬費の削減、地代家賃の圧縮等により、前中間期に比べ改善いたしました。

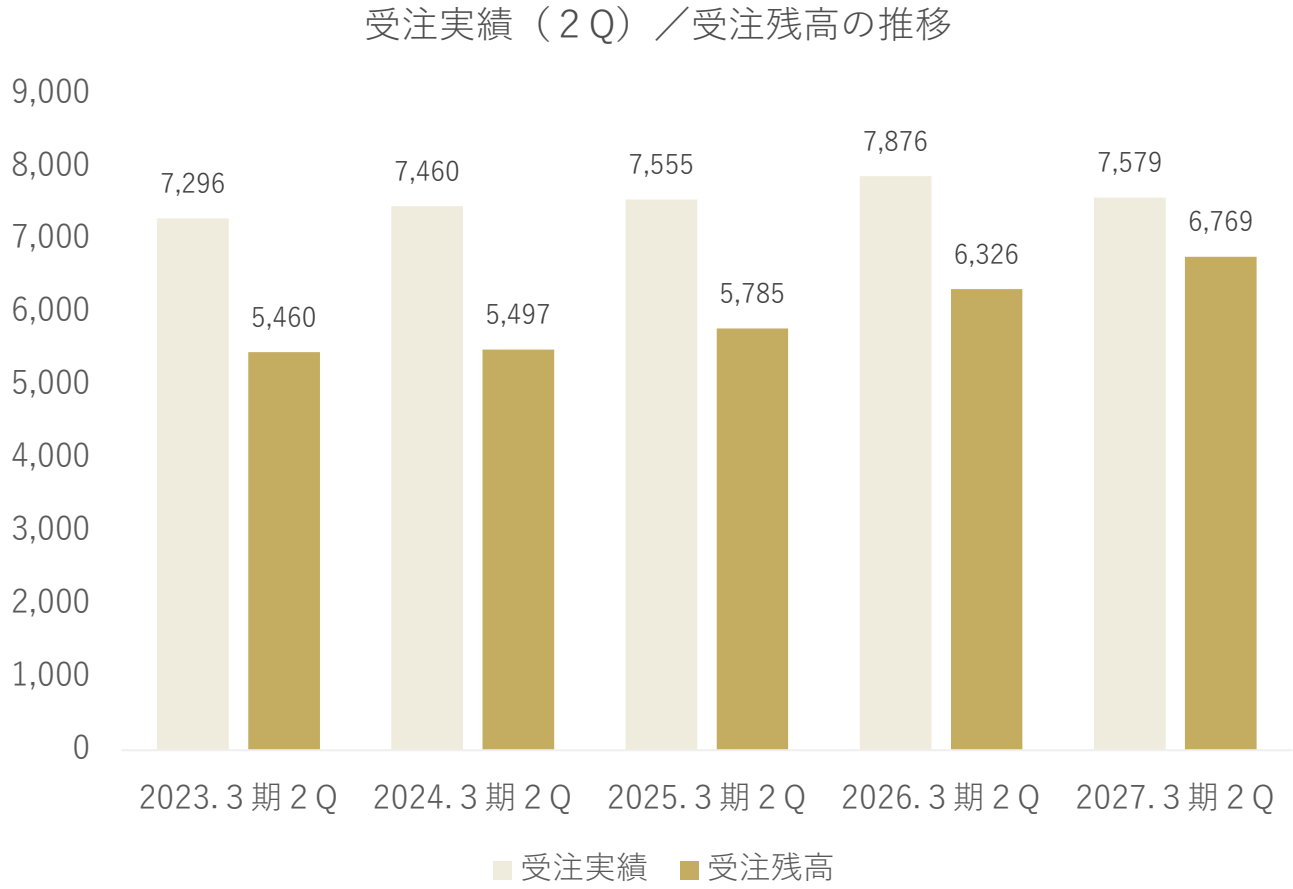
＜ウエディング事業＞

国内において施行組数および施行単価が前中間期をやや下回ったことに加え、中国においても市場環境の悪化に伴い施行組数・施行単価ともに低調に推移したことなどから、減収減益となりました。

和装事業　受注実績／受注残高の推移

株式会社 一蔵

レンタル比率の増加により受注残高は過去最高を更新。DM抑制の結果、受注実績は前中間期から減少。



受注実績（２Q）

△296百万円（△3.8%）

費用対効果を踏まえ、従来のDM送付量を絞り込んだ結果、受注実績は前中間期を下回る結果となりました。

当第２四半期(中間期)末受注残高

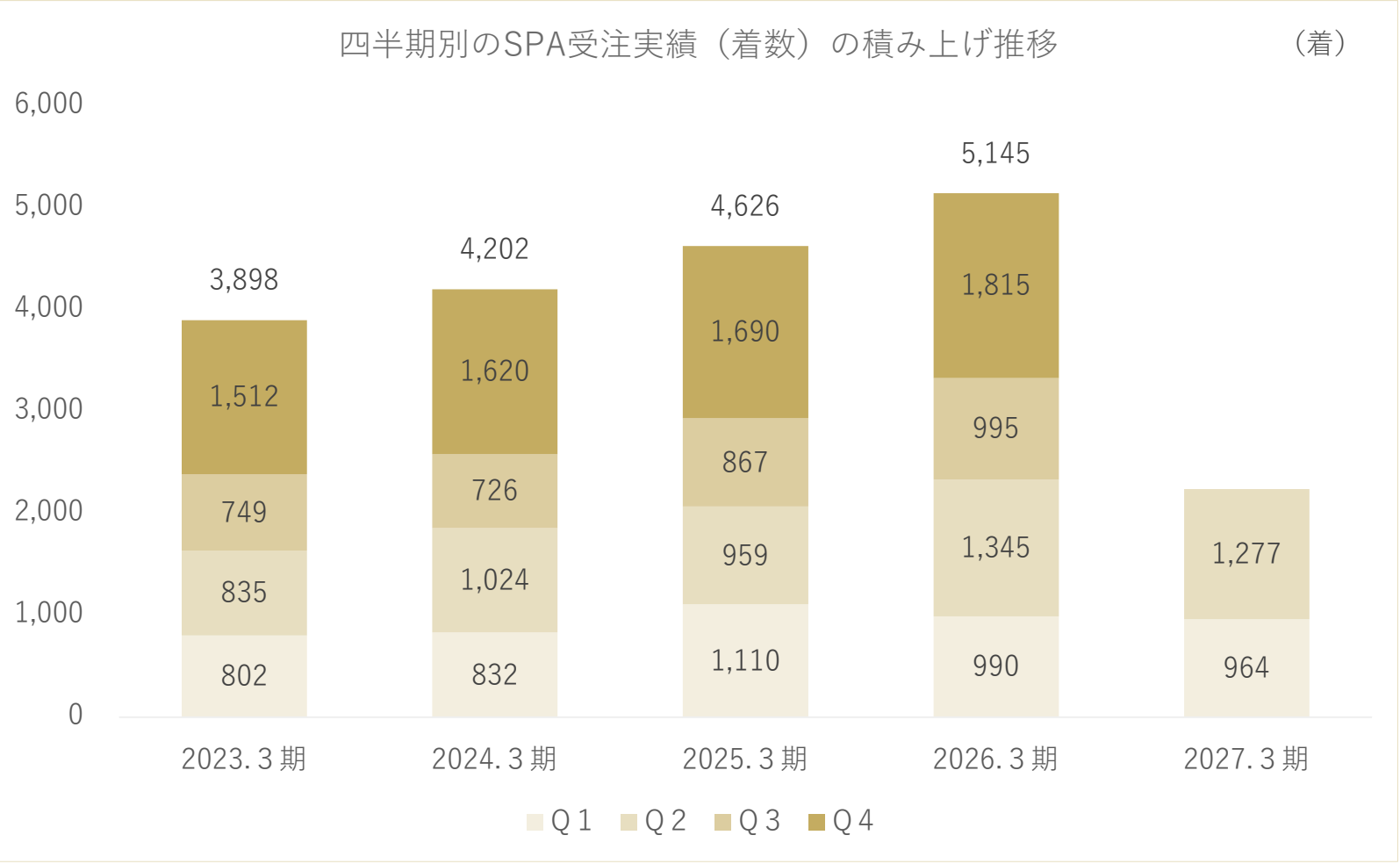
＋443百万円（＋7.0%）

レンタル比率の上昇や契約の早期化による積上げが進み、受注残高は増加いたしました。

和装事業　SPA（プライベートブランド商品）受注実績の推移

株式会社 一蔵

人気柄が生まれるも、SPA（プライベートブランド）の受注実績は振袖全体の受注減により減少。



対前中間期増減数　94着減（△4.0％）

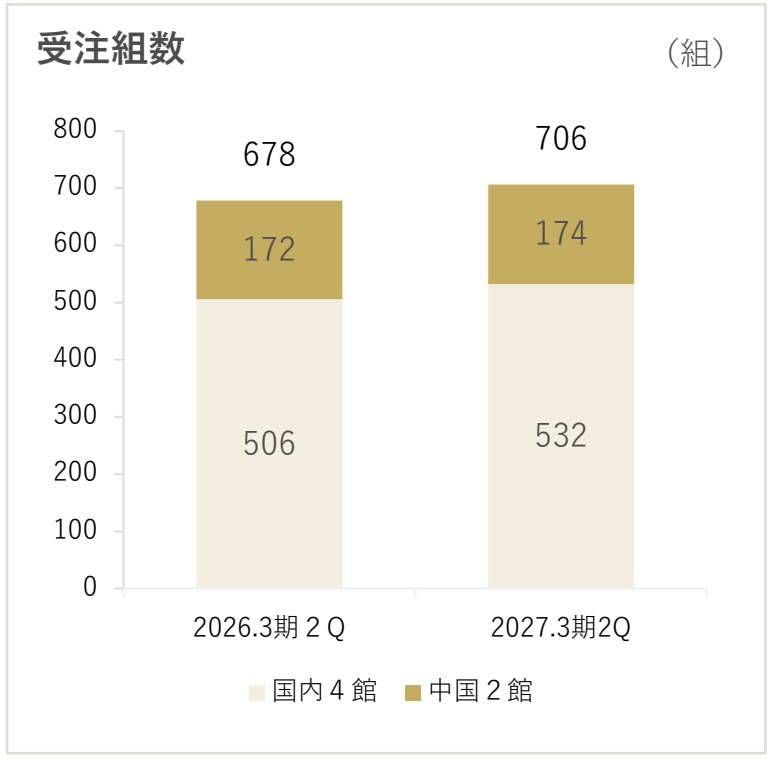
DMを抑制した結果、振袖全体の受注数が減少したことにより、SPAの受注数も前中間期と比べて減少いたしました。

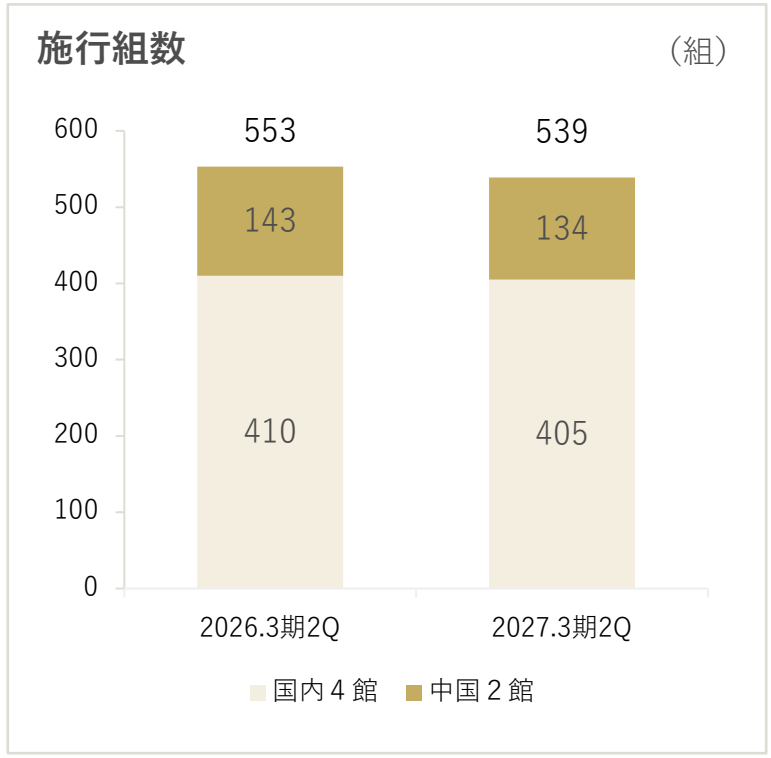
近年リリースとなった柄の受注については好調に推移しております。
36期リリース柄の中には、カタログ未掲載時点におきましても契約率が高い人気柄が生まれている他、37期４月にリリースした２柄についても順調に受注を伸ばしております。

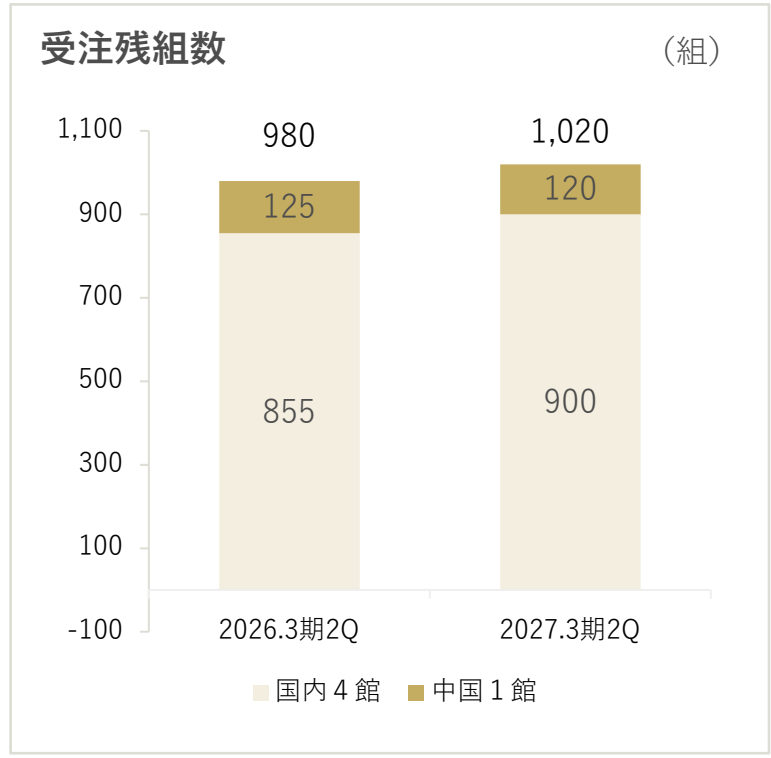
新柄につきましては、今後も段階的なリリースを予定しております。

ウエディング事業　受注組数／施行組数／受注残組数実績

株式会社 一蔵







＜国内４館＞　受注組数は対前中間期比26組増（5.1％増）、施行組数は対前中間期比５組減（1.2％減）、受注残組数は対前中間期末比45組増（5.3％増）。

＜中国２館＞　受注組数は対前中間期比２組増（1.2％増）、施行組数は対前中間期比９組減（6.3％減）。受注残組数は対前中間期末比５組減（4.0％減）。

※　中国２館のうち虹橋店を2026年６月30日付で譲渡したため、受注組数・施行組数は中国２館の合計数を記載しておりますが、受注残組数は中国１館（大寧店のみ）の数値を記載しております。

2027年３月期第２四半期(中間期)　連結貸借対照表

株式会社 一蔵

（百万円／%）

	2026.３末残高	2026.９末残高	対前期末増減率
流動資産	10,493	**10,262**	△2.2
固定資産	7,100	**7,240**	2.0
有形固定資産	5,130	**5,125**	△0.1
無形固定資産	181	**179**	△1.2
投資その他の資産	1,787	**1,935**	8.3
資産合計	17,593	**17,502**	△0.5
流動負債	12,653	**13,491**	6.6
固定負債	2,227	**1,915**	△14.0
負債合計	14,881	**15,406**	3.5
純資産合計	2,712	**2,095**	△22.7
負債純資産合計	17,593	**17,502**	△0.5
自己資本比率（%）	15.4	**12.0**	△3.4pt
借入依存度（%）	25.8	**24.0**	△1.8pt
BPS（１株当たり純資産）	490円65銭	**379円17銭**	△111円48銭

【主な増減理由】

＜資産の部＞

- 現金及び預金の減少　△651百万円
- 売掛金の増加　71百万円
- 棚卸資産の増加　230百万円
- 建物及び構築物の減少　△57百万円
- 建設仮勘定の増加　32百万円
- 敷金及び保証金の増加　29百万円
- 繰延税金資産の増加　212百万円

＜負債の部＞

- 買掛金の減少　△55百万円
- １年内返済予定の長期借入金の減少　△79百万円
- 未払金の増加　90百万円
- 前受金の増加　1,072百万円
- その他（流動負債）の減少　△166百万円
- 長期借入金の減少　△256百万円

＜純資産の部＞

- 親会社株主に帰属する中間純損失の計上　△534百万円
- 配当金の支払　△77百万円

2027年３月期第２四半期(中間期)　キャッシュ・フロー計算書

株式会社 一蔵

（百万円／%）

	2026.３期 ２Q実績	**2027.３期 ２Q実績**	対前中間期 増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	620	**△65**	△685
投資活動による キャッシュ・フロー	675	**△347**	△1,023
財務活動による キャッシュ・フロー	△990	**△421**	569
現金及び現金同等物に係る換算差額	△52	**78**	130
現金及び現金同等物の 増減額	253	**△756**	△1,009
現金及び現金同等物の 期首残高	978	**1,304**	325
現金及び現金同等物の 期末残高	1,231	**547**	△684

【主な増減理由】

＜営業活動によるCF＞

- 税金等調整前中間純損失　63百万円
- 減価償却費　△59百万円
- 有形固定資産売却益　176百万円
- 売上債権の増減額　△251百万円
- 棚卸資産の増減額　△98百万円
- 未払消費税等の増減額　△125百万円
- 前受金の増減額　△381百万円

＜投資活動によるCF＞

- 有形固定資産の売却による収入　△1,035百万円

＜財務活動によるCF＞

- 短期借入金の純増減額　660百万円
- 長期借入れによる収入　△100百万円

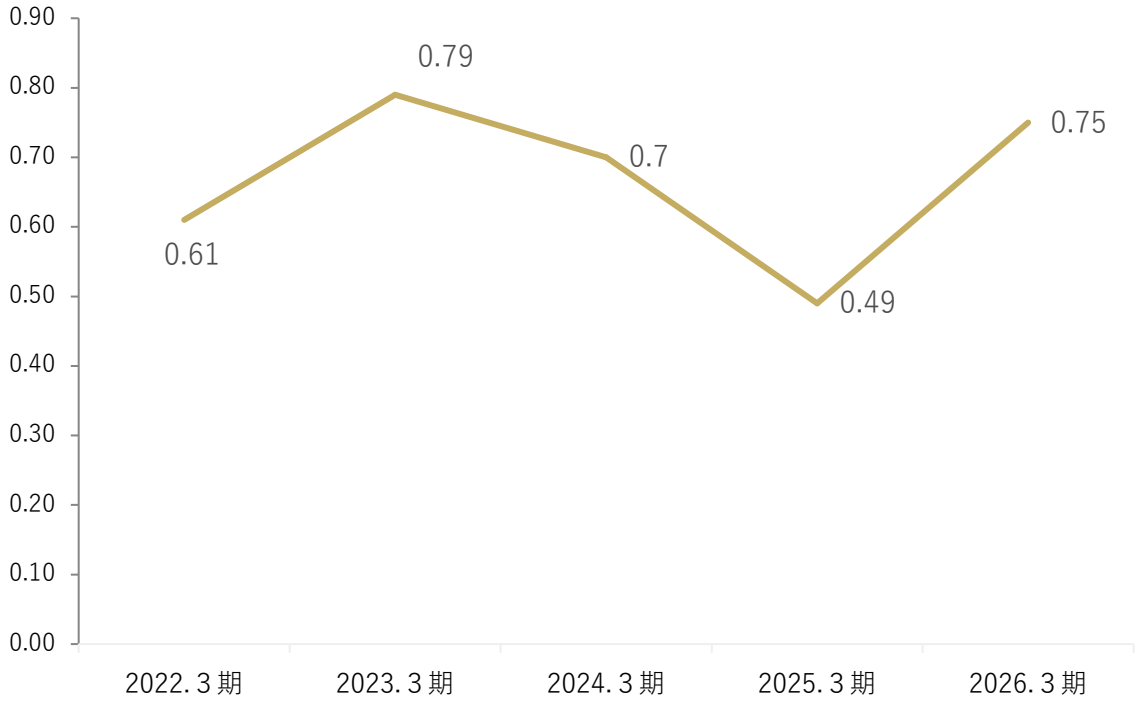
II　資本コストや株価を意識した経営に関する進捗状況

PBR・PERの分析と現状認識

株式会社 一蔵

直近PBRは継続して１倍を下回る水準であり、早期の回復が課題となっている。

過去５年間のPBRの推移



PBRの分解

ROE（収益性・資本効率）

×　PER （市場評価・成長期待）

＝　PBR

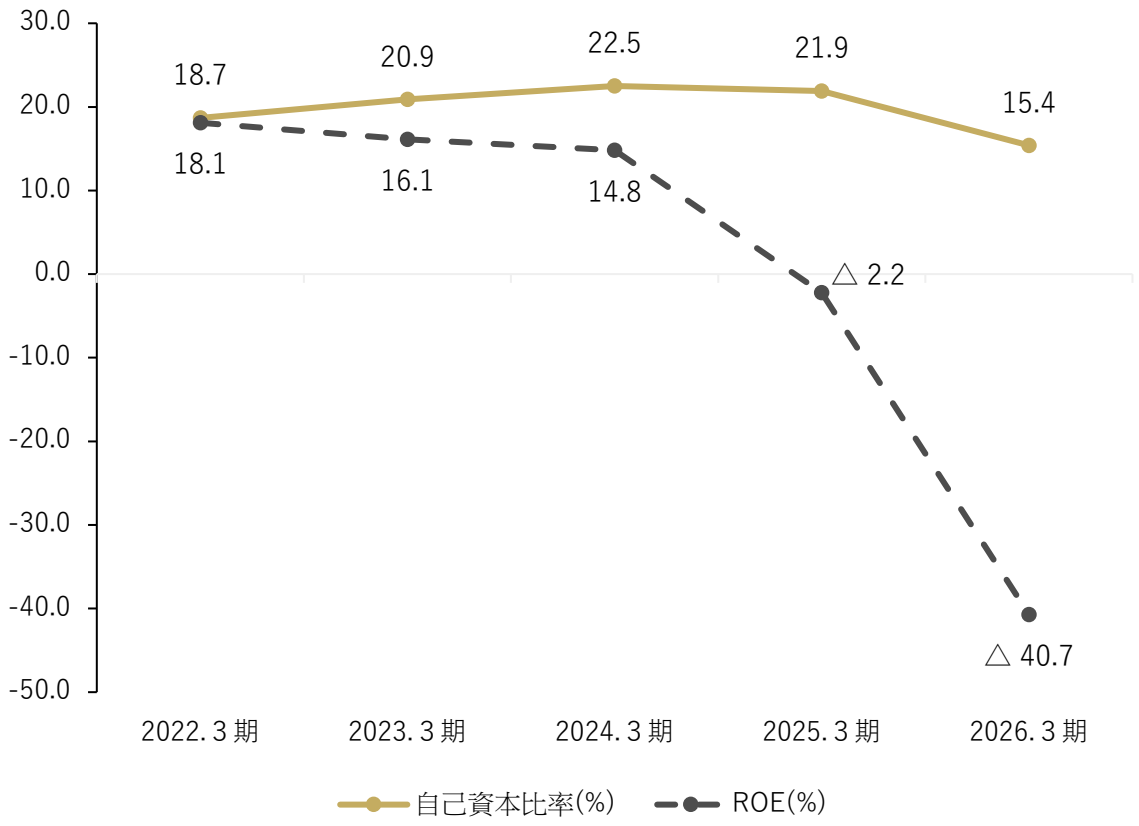
■ ROE（収益性・資本効率）の改善
　　高収益事業への注力やコスト構造の最適化による「稼ぐ力」の強化

■ PER（市場評価・成長期待）の改善
　　持続的な成長ストーリーの策定および実行のコミットメント

自己資本比率・ROEの推移／資本コストとの比較

株式会社 一蔵

2026.３期のROE急落は中国子会社の減損損失計上が主な要因。2027.３期は株主資本コスト以上を目指す。



ROE分解（デュポン分解・2026.３期）

売上高純利益率		△7.4%
×	総資産回転率	1.03回
×	財務レバレッジ	5.30倍
＝	ROE（実績）	△40.7%

株主資本コストとの比較

2027.３期ROE　＞　株主資本コスト5.17%

2027.３期は売上高純利益率を改善することにより株主資本コストを上回るリターンを目指す

財務指標の現在地と改善への道筋

株式会社 一蔵

安定的な黒字化と資本効率の最適化を起点に、成長戦略と情報開示の強化でPBR改善を目指す。

主要財務指標の数値（2026年３月期末時点）

指標	現状	認識
ROE	△40.7%	減損損失の影響によりマイナス
株主資本コスト	5.17%	ROEが下回る状況
PBR	0.75倍	収益力と成長期待の改善が必要
自己資本比率	15.4%	財務健全性と資本効率の両立を追求

※ 上記の指標は、いずれも2026年３月期末時点の数値です。当社は利益が第３四半期以降に偏る傾向があるため、中間期での更新は行っておりません。

PBR改善への基本ステップ

1 **収益力・資本効率の回復安定**
黒字化／利益率改善／資本効率改善→ROE改善

2 **成長戦略・IRによる期待形成**
中期経営計画／重点施策／進捗開示→PER改善

3 **資本配分・株主還元の明確化**
配当／優待／成長投資

ROE改善
黒字化・資本効率

PER改善
成長期待・信頼

PBR改善・企業価値向上

資本コストや株価を意識した経営の進捗

株式会社 一蔵

公表済みの取り組みを実行段階へ移し、収益性改善・資本効率改善・市場評価向上を進める。

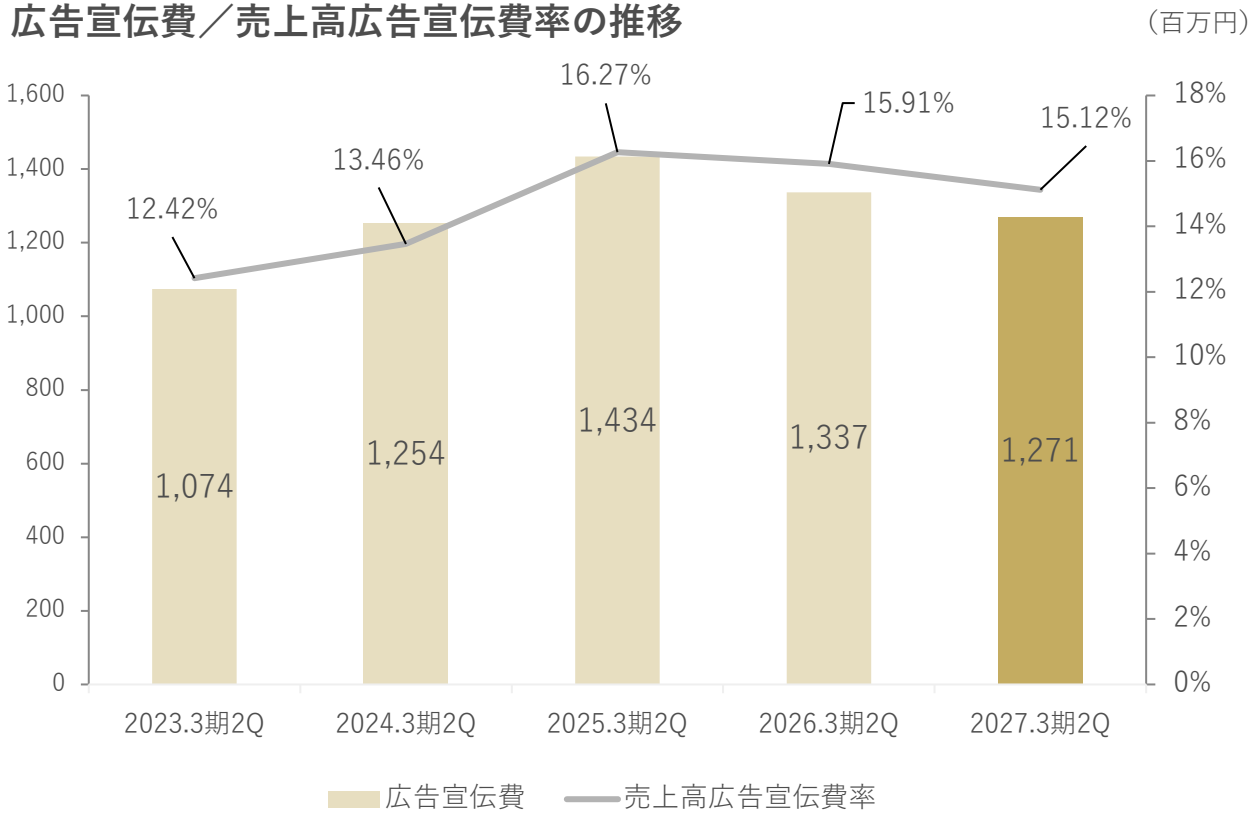
領域	公表済みの取組	2027年３月期第２四半期(中間期)の進捗	状態
国内事業	投資効率を重視した店舗のスクラップ＆ビルド	店舗網の見直しを継続するとともに、人員を集約し教育体制を強化。 サービス品質の向上による売上拡大を図る。	実行中
国内事業	広告宣伝費のコントロールによる営業利益率向上	DM中心の広告からSNS・WEB広告を組み合わせた運用へシフト。	実行中
中国事業	上海「虹橋店」の資産譲渡と「大寧店」への集中	虹橋店の資産譲渡を完了。大寧店へ経営資源を集中。	完了
株主還元	DOE3.0%、中間・期末の年２回の配当方針へと変更	適用開始。	完了
IR・成長戦略	IR資料の内容充実、中期経営計画の開示	中期経営計画は2027年３月期第３四半期中の公表を予定。	準備中

収益性：広告宣伝費のコントロールによる営業利益率向上

株式会社 一蔵

SNS・WEB広告を活用し、広告宣伝費を抑制しつつ、より効果的な集客へと移行する。

広告宣伝費／売上高広告宣伝費率の推移



2026.３期２Qから2027.３期２Qの推移

広告宣伝費：	1,337百万円	→1,271百万円	65百万円減
売上高広告宣伝費率：	15.91%	→ 15.12%	0.79pt減

広告投資の考え方

これまで

DMの送付量で勝負する広告展開

広告費の投入量が受注獲得に直結しやすい構造

これから

SNS・デジタルメディア活用を拡大

商品・体験・企画を伝えるコンテンツ力、届けたい顧客層に応じた情報発信が重要

今後の重点

「量」中心から、顧客に選ばれるコンテンツ制作・発信力の強化へ

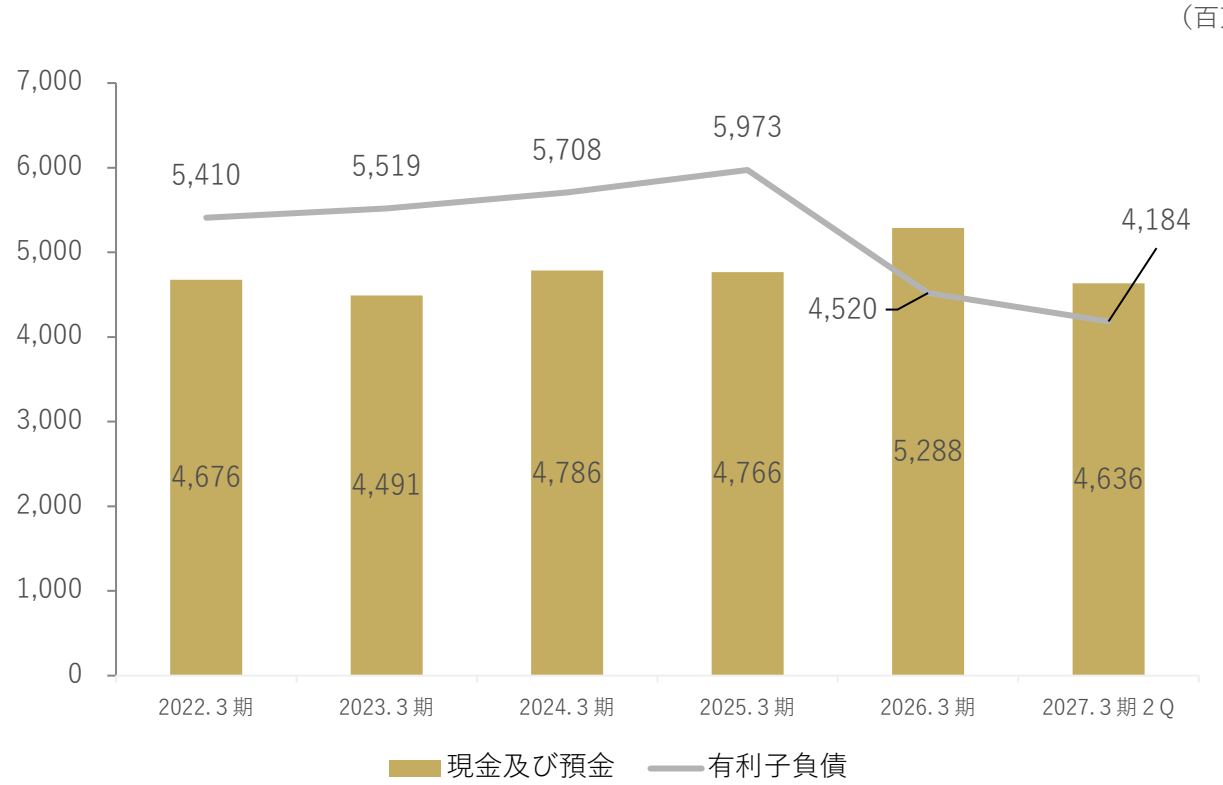
媒体別、地域別の投資効率を検証し、より効果の高い広告配分へ移行する

資本効率：現金及び預金・有利子負債のバランス

株式会社 一蔵

適切な手元流動性を維持しつつ有利子負債を段階的に圧縮し、財務体質の強化を進める。

現金及び預金・有利子負債（リース債務除く）の直近５年間の推移



現在は事業を通じて適切な水準を超える手元流動性が確保できている。そのため有利子負債は、手元流動性を勘案しながら計画的に返済を進めている。

現金及び預金・有利子負債の考え方

適切な手元流動性を確保し財務健全性を維持

事業活動の安定的な継続と環境変化への耐性を備えるため、事業規模に応じた最適な手元流動性を確保する。

有利子負債の計画的な圧縮

支払利息（財務コスト）を削り、引き締まった財務体質へ。

最適なキャピタル・アロケーションの推進

財務基盤の健全化を踏まえ、創出したキャッシュを「成長投資」「株主還元」「財務健全性の維持」へ最適に配分。

トピックス

トピックス（和装事業）

「一蔵＆オンディーヌ松本店」がグランドオープンいたしました。

2026年８月２日（日）、長野県２店舗目となる「一蔵＆オンディーヌ松本店」がグランドオープンいたしました。
JR松本駅から徒歩８分（信毎メディアガーデン向かい）に位置し、長野県中信・諏訪エリアのお客様にも幅広くご利用いただける店舗となっております。

店内には撮影スタジオを完備しており、振袖レンタル・ご購入はもちろん、前撮り・後撮り、お母様・お姉様の振袖を活用する「ママ振・姉振」の持ち込みや、小物コーディネート、卒業式の袴までトータルでお任せいただけます。伝統的な古典柄からトレンドのくすみカラーや人気のブランド振袖まで、豊富な品揃えでお一人おひとりの個性や「なりたい」を叶えるご提案を行ってまいります。

今後も地域のお客様に寄り添い、人生の節目となる大切な瞬間を彩るお手伝いをしてまいります。







車椅子向け振袖「Universal Design Furisode」が2026年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。

当社が車椅子をご利用の方に向けて開発した振袖「Universal Design Furisode」が、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2026年度グッドデザイン賞」を受賞いたしました。

本商品は、当社のきものファッションショーにおいて、車椅子をご利用の女性から「きものを着てみたい」との声をいただいたことをきっかけに開発いたしました。特殊な仕立て技術により約８分で着用できるほか、バックファスナーにより車椅子トイレご利用時の負担を軽減し、袖丈の調節にも対応しております。

審査では、ご利用者様やご家族の実際の課題に即した工夫が評価されました。今後も、障がいの有無にかかわらず、すべての方が人生の節目を晴れやかに迎えられるよう、和装を通じた新たな価値の提供に努めてまいります。

GOOD DESIGN AWARD 2026







トピックス（ウエディング事業）

フォトウエディングスタジオの新規開業およびドレスサロンのリニューアルを行いました。

【studio HYAKKAROU（スタジオ百花籠）】

結婚式場「百花籠」（愛知県名古屋市）において、本場韓国の撮影技術を取り入れたフォトウエディングスタジオ「studio HYAKKAROU（スタジオ百花籠）」が、先行予約・事前相談会の開催を経て2026年10月にグランドオープンいたしました。館内には40種類以上の撮影シチュエーションを備えております。

【VIVIAN brides名古屋店】

2026年８月５日（水）、「百花籠」のドレスサロン「VIVIAN brides名古屋店」を、名古屋市中区新栄町（スカイオアシス栄２階）へ移転リニューアルオープンいたしました。オリジナルブランドをはじめ、インポートドレス、韓国ドレス、和装まで380着以上のラインアップを展示しております。

今後も、増加するフォトウエディング需要や多様化する衣裳ニーズに対応し、受注機会の拡大に努めてまいります。







打ち合わせ最短２回で叶える新プラン「Just Wedding」の提供を開始いたしました。

結婚式場「ネオス・ミラベル」（山梨県）において、４か月以内の結婚式を対象としたプラン「Just Wedding」の提供を開始いたしました。これにより、運営している全４式場（「キャメロットヒルズ」（埼玉県）、「ネオス・ミラベル」（山梨県）、「グラストニア」（愛知県）、「百花籠」（愛知県））すべてで対応可能となりました。

本プランは、通常８回程度の打ち合わせを基本２回に集約し、「準備はシンプルに。結婚式は、きちんと。」をコンセプトに、会場、挙式、衣裳、美容、写真など結婚式に必要なアイテムをパッケージにした商品です。招待状やゲスト情報など、ご自宅で進められる準備にはWEBサービスも活用いたします。

「忙しくても、結婚式はきちんと挙げたい」という多様化するニーズにお応えするとともに、今後も本物志向のファシリティに加え、ソフトの内製化による付加価値の高いサービスを提供することで、受注機会の拡大に努めてまいります。







【各式場】中学生・高校生の職場体験・インターンシップを受け入れました。

当社では、地域社会に根ざしたCSR活動の一環として、中学生・高校生の皆様に向けた職場体験を実施しております。当期は、各式場にて以下の学校の皆様を受け入れました。

・【グラストニア】名古屋市立名古屋商業高等学校
・【グラストニア】南山学園 聖霊高等学校
・【百花籠】名古屋経済大学 高蔵高等学校
・【百花籠】南山高等学校
・【ネオス・ミラベル】笛吹市立石和中学校

館内見学や講話に加え、ブーケ製作、映像製作、撮影、結婚式準備などの体験を通じて、将来を担う世代が、働くことの意義や社会との関わりを学ぶ機会となるよう、今後も継続的に活動を進めてまいります。









Ⅳ　2027年３月期　業績予想・株主還元

2027年３月期　連結業績予想

株式会社 一蔵

売上高予想
202億円
前期比＋3.9％

営業利益予想
3.3億円
前期△1.2億円

親会社株主に帰属する当期純利益予想
1.7億円
前期△14.4億円

（百万円／％）

	2026.３期 実績	2027.３期 予想	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	19,446	**20,206**	760	3.9
売上総利益	12,284	**12,898**	613	5.0
販売費及び一般管理費	12,414	**12,567**	152	1.2
営業利益	△129	**331**	461	—
経常利益	△85	**302**	387	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△1,441	**177**	1,618	—
EPS（１株当たり当期純利益）	△260円93銭	**32円10銭**	293円３銭	—

2027年３月期　セグメント別連結業績予想

株式会社 一蔵

（百万円／%）

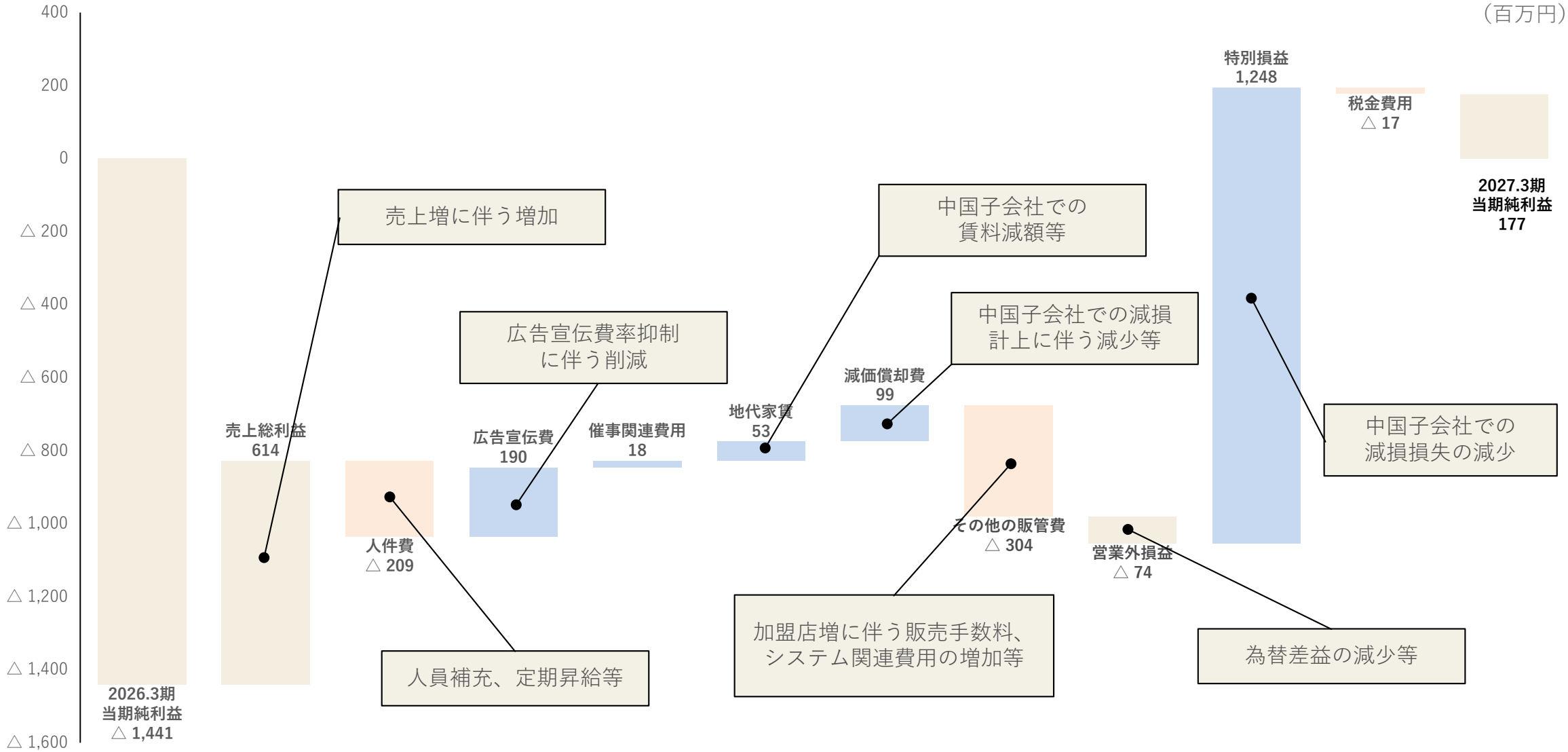
和装事業	2026.３期 実績	2027.３期 予想	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	14,984	**15,457**	473	3.2
販売売上	6,987	**7,201**	213	3.1
レンタル売上	2,617	**2,902**	284	10.9
加工売上	1,493	**1,532**	38	2.6
写真売上	3,242	**3,209**	△32	△1.0
その他売上	642	**612**	△30	△4.8
セグメント利益	764	**1,053**	288	37.7

（百万円／%）

ウエディング事業	2026.３期 実績	2027.３期 予想	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	4,462	**4,749**	287	6.4
セグメント利益	△154	**108**	263	―

2027年３月期　当期純利益予想の増減分析

株式会社 一蔵



株主還元　① 配当金

【配当金】

（円）

１株当たり配当金	2024.３期 実績	2025.３期 実績	2026.３期 実績	2027.３期 実績（予想）
中間配当	0.00	0.00	0.00	7.00
期末配当	28.00	14.00	14.00	（予想）8.00
合計	**28.00**	**14.00**	**14.00**	**15.00**

2026年５月13日に「配当方針の変更に関するお知らせ」を公表しております。

【配当方針】

当社は、株主の皆様に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、将来の事業展開と経営体質の強化を考慮しつつ、純資産配当率3.0%を基準に安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。
また、当社の剰余金の配当は、中間配当、期末配当の年２回を基本方針とし、中間配当の決定機関は取締役会、期末配当の決定機関は株主総会であります。内部留保資金につきましては、財務体質の強化を図るとともに、一層の事業拡大を目指すため、店舗の新設及び改装費のほか、今後の事業展開のための人材育成など、有効な投資資金として活用し、企業価値の向上に努める考えであります。

株主還元　② 株主優待制度・提携レストラン

株式会社 一蔵

権利確定月	３月末日
単元株数	100株
株主優待の内容	100株以上：下記①から⑦よりいずれかひとつご利用いただけます。 （和装事業） ① 店舗にて100,000円以上（税込）のお代の場合　10,000円割引 ② 店舗にて100,000円未満（税込）のお代の場合　5,000円割引 （ウエディング事業） ③ 結婚式場でのコンサート＆ディナー　１名様につき3,000円割引 ④ 結婚式場でのランチ　１名様につき3,000円割引 ⑤ レストラン（自社及び提携）　１名様につき3,000円割引 ⑥ フラワーギフト5,500円以上（税込）送料別ご注文の場合　3,000円割引 ⑦ フォトプラン（StudioMerlin限定）　3,000円割引 ※ ③から⑤につきましては、株主様ご優待券１枚につき２名様までご利用可能です。

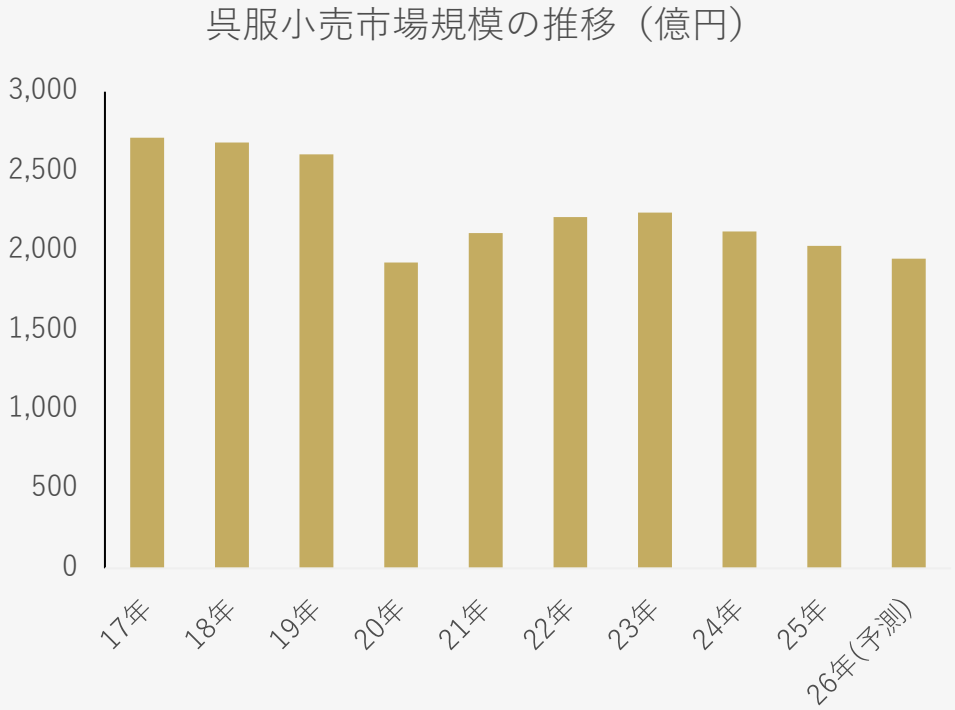
＜提携レストラン＞
- Restaurant Perfumes （東京都品川区東五反田４－７－29　ＮＫ五反田ビル１Ｆ）
- IL GHIOTTONE　（京都府京都市東山区下河原通塔ノ前下ル八坂上町388 －１）
- ダイナミックキッチン＆バー 響（東京・神奈川・大阪の計８店舗　詳細は弊社ウェブサイト2026年５月20日付ニュースリリースをご覧ください。）

V　セグメント別の取り組み

和装業界について

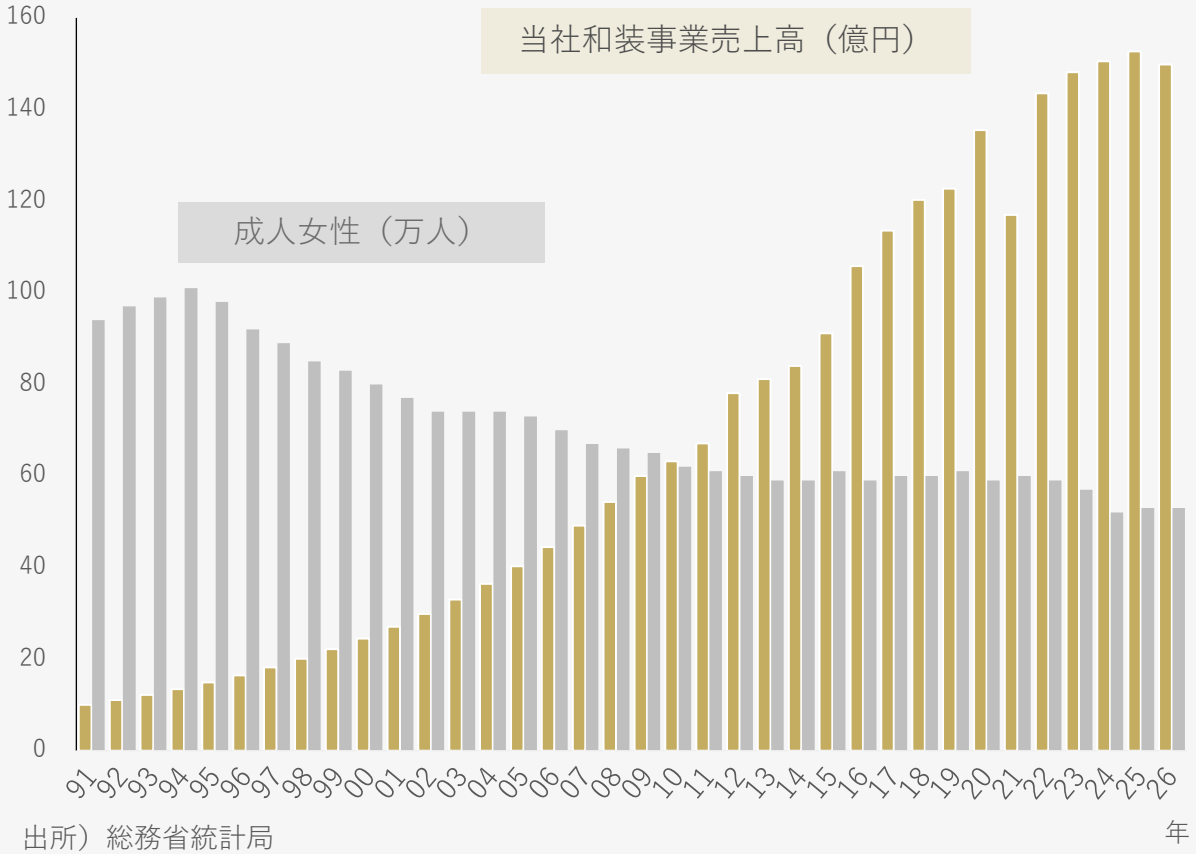
株式会社 一蔵

2026年の呉服小売市場規模は1,950億円の予測



出所）矢野経済研究所推計

成人女性が４割以上減少するなか、当社和装事業の売上高は約15倍に拡大



出所）総務省統計局

和装事業の施策（プライベートブランドの更なる強化）

株式会社 一蔵

◆ 京友禅競技大会で当社が企画・制作に携わった作品が各賞を受賞



第77回大会



創立75周年記念大会



第75回大会

◆ 第77回京友禅競技大会：京都デザイン協会理事長賞

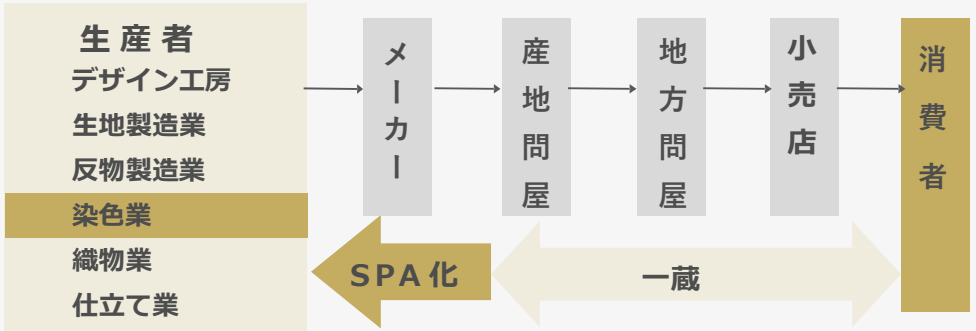
◆ 創立75周年記念京友禅競技大会：機械染部門優秀賞

◆ 第75回京友禅競技大会：私の好きなきもの大賞

独自のデザイン性、染色技術の高さが評価されております。

◆ プライベートブランド（SPA）※

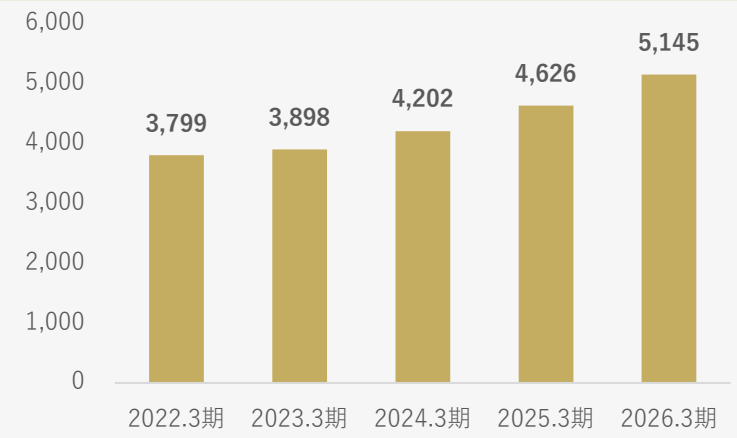
- 小ロット生産により柄数を増やし、消費者ニーズに合う商品をよりリーズナブルに提供
- 白生地から制作することで原価を抑えて制作可能



顧客ニーズをダイレクトに商品開発に活かす体制を進化

※「SPA」とは、Speciality store retailer of Private label Apparelの略で、「製造小売」の意味です。
企画から製造、小売までを一貫して行うビジネスモデルを指します。

◆PB商品受注実績推移（着）



和装事業の施策（きもの着方教室「いち瑠」の強化）

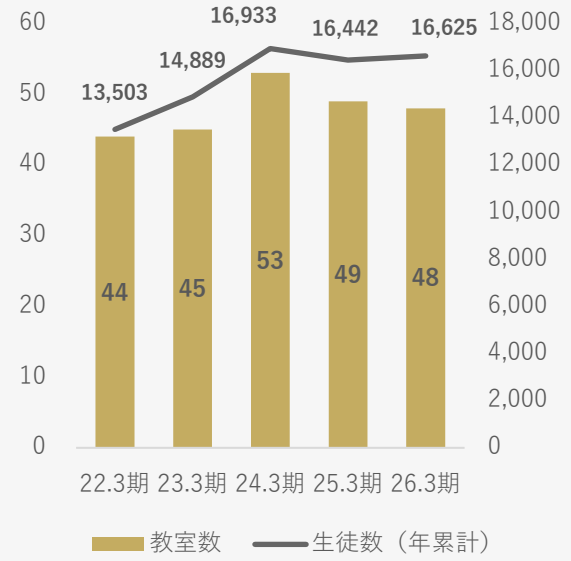
株式会社 一蔵

◆ 教室出店による生徒数増／教室受注増

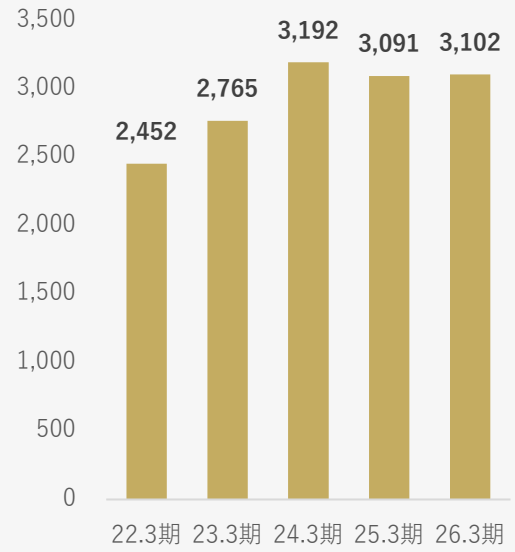


いち瑠イメージモデル：タレント／映画コメンテーターLiLiCoさん

教室数（常設）／生徒数（年累計）推移



教室受注高（百万円）



常設の「いち瑠」教室数は、2026年３月末時点で48教室と前期末に比べ減少いたしました。

教室数は減少しましたが、生徒数（年累計）は前期比1.1％増の16,625名、教室受注高は前期比0.4％増の3,102百万円となりました。

和装事業の施策（加盟店の開拓強化・SCへの出店強化）

株式会社 一蔵

◆ 加盟店の開拓強化

ローコストでの店舗網拡大
ICHIKURA、Ondineブランドの販路拡大

◆ SC（ショッピングセンター）への出店強化

従来のオフィスビルへの出店に加え、SCへの出店を強化
新たな顧客層の取込

◆ 店舗数推移

	2023.３期	2024.３期	2025.３期	2026.３期
直営店	80	79	79	**74**
加盟店	22	25	31	**34**
店舗合計	102	104	110	**108**

ICHIKURA　Ondine　オンディーヌ





和装事業の施策（きものを着る機会の創出）

◆ UKA（UniversalKimonoAward）の開催





「日本文化ときものを未来につなぐ、サステナブルプロジェクト」として当社グループ主催のきものコンテスト「UKA（UniversalKimonoAward）」を開催しています。

今年は11月25日（水）に開催予定。

日常を楽しむファッションとして、きものを着る機会を提供し、きものが本来持っている価値や新たな魅力と可能性を最新トレンドと併せて発信してまいります。

◆「きものdeおでかけ」イベントの開催

せっかくきものを着られるようになったら、きもので街を歩いてみませんか？「着る機会がない」「きものが好きな友人がまわりにいない」からといって、きものを着るのをためらっていませんか？

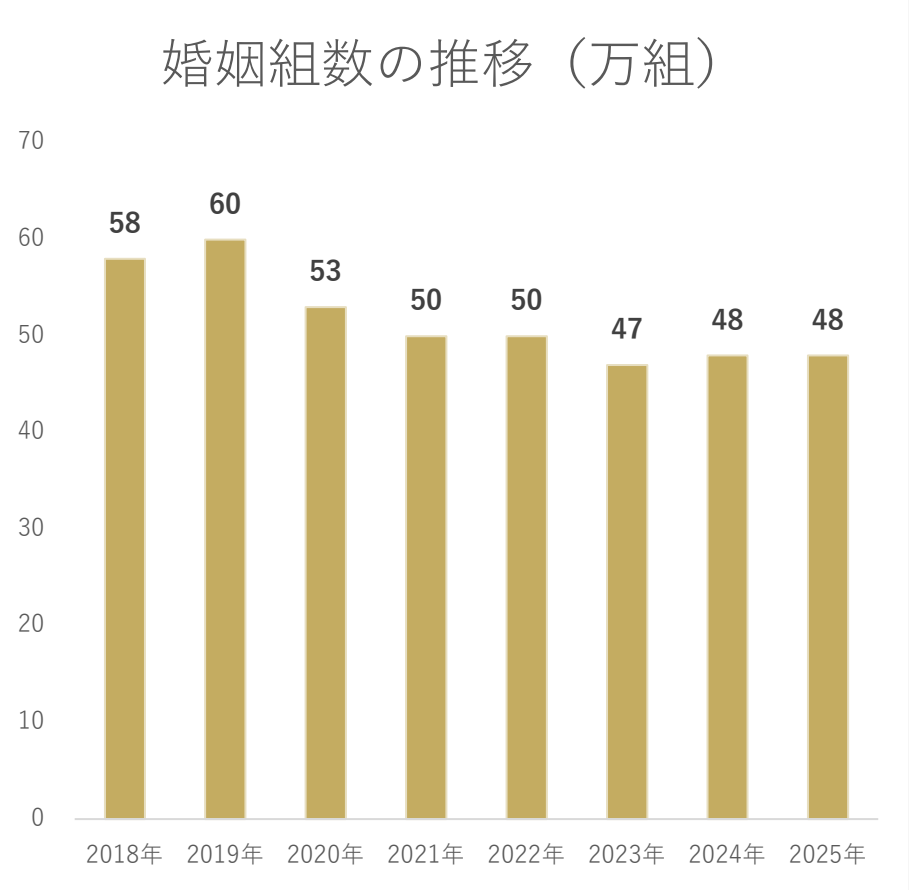
いち瑠では、ご希望の方を対象に「きものdeおでかけ」イベントを毎月開催しております。きものの楽しさは、何気ない毎日の暮らしの中にもたくさんあります。いつもの趣味の時間やよく行く街も、きものを着ることで新たな魅力や楽しさが見つかるはずです。



ウエディング業界について

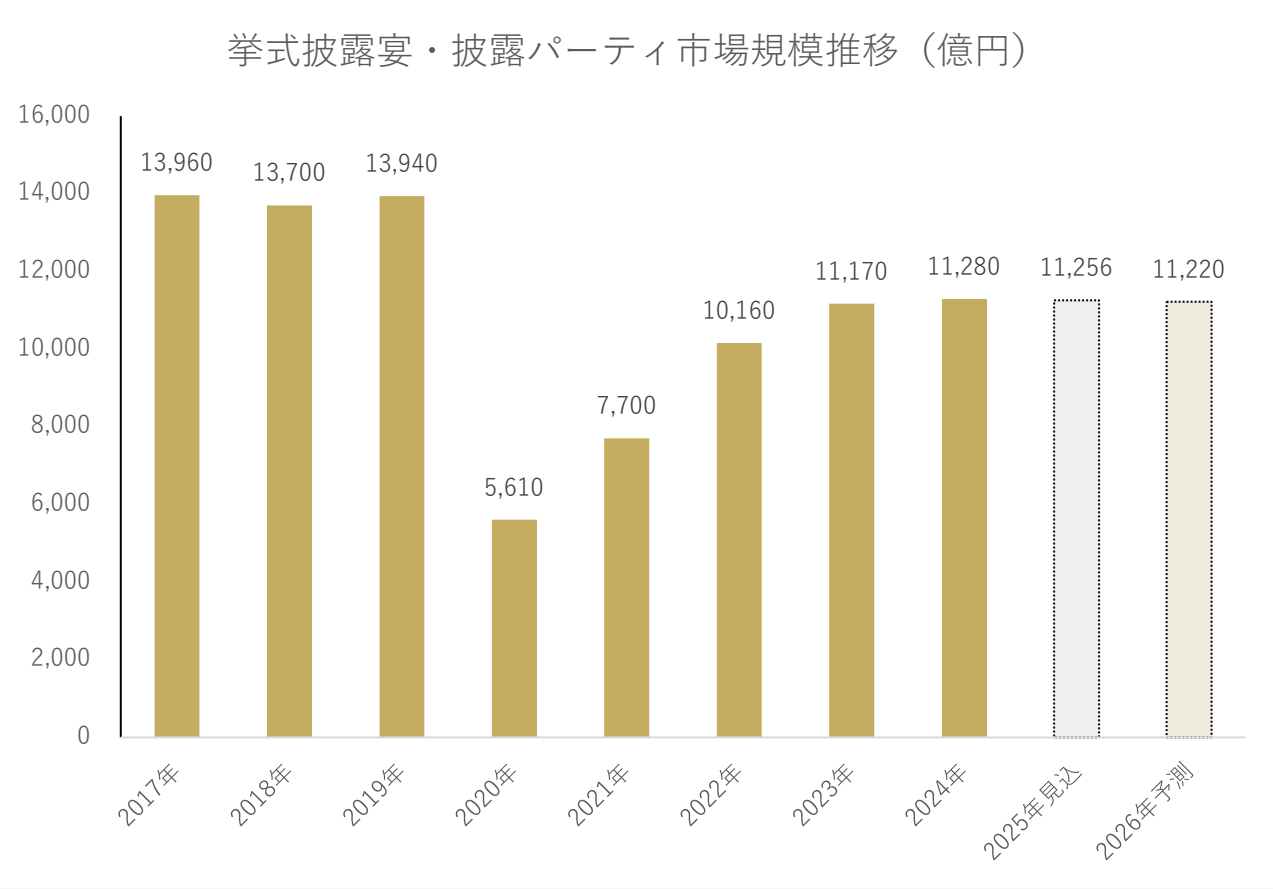
株式会社 一蔵

2025年は「489,158組」と約４千組の増加



出所：厚生労働省「令和７年人口動態統計」

2025年は１兆1,256億円の見込、2026年は１兆1,220億円の予測



出所：矢野経済研究所「ブライダル産業年鑑」（2026）

ウエディング事業の施策（フォトスタジオ事業の強化）

◆ フォトスタジオ事業の強化：名古屋へのエリア拡大

～なし婚層の需要獲得と、独自アセットを活かした提供価値の最大化～

当社は、ライフスタイルの変化に伴い拡大が続くフォトウエディングや、多様化するアニバーサリー市場の確実な取り込みを進めております。
2024年12月に開業したさいたま市のスタジオでは、映画セットの本格空間、ドレスショップ、レストランをワンストップで完備し、高い成果を上げてまいりました。
この成功モデルをベースに、2026年10月、名古屋（百花籠内）への新規出店を目標に始動いたします。
新スタジオでは、百花籠内の衣装室を改装利用することで圧倒的な和魂洋才の世界観に新スタジオの異なる独自のロケーションによる幅広い撮影を展開。
さらに、これまでの技術とノウハウを持つ「内製化のプロフェッショナル」が撮影から演出までを一貫して手掛けることで、圧倒的な差別化を実現し、マーケットや顧客から深く支持されるスタジオづくりを推進いたします。
「なし婚層」という新たな顧客ボリュームの獲得とエリア拡大により、持続的な企業価値向上を図ってまいります。







ウエディング事業の施策（中国ウエディング事業の改善）

株式会社 一蔵

◆ 中国現地法人「璨臻（上海）婚慶礼儀服務有限公司」結婚式場の概況

アジアマーケットにおけるウエディング事業の拡大を目的として、中国上海市に現地法人を設立。

2019年３月16日に１施設目の結婚式場「嘉美麓徳高端婚礼会館大寧店」を、2022年９月11日に２施設目の結婚式場「嘉美麓徳高端婚礼会館虹橋店」をオープンし、運営しておりました。

中国経済の低迷による婚姻組数の減少及び１組単価の下落が売上高に大きく影響し、2026年３月期に1,243百万円の減損損失を計上いたしました。

虹橋店を2026年６月30日付で譲渡し、現在は、大寧店のみで運営を行っております。







◆ Camelot-Hills Shanghai 売上高

（百万円）

売上高	第１四半期会計期間（１月～３月）	第２四半期会計期間（４月～６月）	第３四半期会計期間（７月～９月）	第４四半期会計期間（10月～12月）	期間合計
2027年３月期	117	171	－	－	
2026年３月期	122	186	111	316	**736**
増減額	△4	△15	－	－	－

（注）12月を決算月としております。

VI 会社概要

会社概要

2026年９月30日現在

社名	株式会社一蔵
上場市場	東京証券取引所　スタンダード市場
証券コード	6186
東京本社 **埼玉本社**	〒101-0041　東京都千代田区神田須田町２丁目５番　東京神田須田町ビル７階 〒331-0815　埼玉県さいたま市北区大成町４丁目699番地１
代表者	代表取締役社長　河端 義彦
設立	1991年２月５日
資本金	54,475千円（資本準備金：1,013,391千円）
従業員数	655名（2026年９月30日時点の一蔵グループの正社員・契約社員数）
事業内容	■ 和装事業 呉服等の販売、振袖等の販売・レンタル、成人式の前撮り写真撮影 成人式当日の着付け及びメイクサービス、きもの着方教室の運営 等 ■ ウエディング事業 結婚式場の運営、フォトスタジオの運営 等

Ⅶ　参考資料

財務データ　連結経営指標等の５期推移

株式会社 一蔵

決算年月		2022年３期	2023年３期	2024年３期	2025年３期	2026年３期
売上高	（百万円）	18,567	19,747	20,429	19,932	19,446
経常利益	（百万円）	625	570	331	105	△85
親会社株主に帰属する当期純利益	（百万円）	617	597	629	△96	△1,441
純資産額	（百万円）	3,404	3,994	4,531	4,376	2,712
総資産額	（百万円）	18,196	19,136	20,107	20,000	17,593
１株当たり純資産額	（円）	617.46	724.39	821.95	793.80	490.65
１株当たり当期純利益	（円）	111.91	108.32	114.13	△17.58	△260.93
自己資本比率	（%）	18.7	20.9	22.5	21.9	15.4
自己資本当期純利益率	（%）	18.1	16.1	14.8	△2.2	△40.7
営業活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	1,730	1,063	699	548	1,291
投資活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	△316	△1,494	△687	△1,092	528
財務活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	△1,333	10	50	89	△1,548
現金及び現金同等物の期末残高	（百万円）	1,640	1,254	1,361	978	1,304

財務データ　連結貸借対照表　５期推移

株式会社 一蔵

（百万円）

決算年月	2022年３月	2023年３月	2024年３月	2025年３月	2026年３月
（資産の部）					
流動資産	9,987	9,905	10,547	10,289	10,493
固定資産	8,209	9,230	9,560	9,711	7,100
有形固定資産	6,664	7,348	7,506	7,612	5,130
無形固定資産	89	170	163	178	181
投資その他の資産	1,455	1,711	1,890	1,919	1,787
資産合計	**18,196**	**19,136**	**20,107**	**20,000**	**17,593**
（負債の部）					
流動負債	12,731	12,581	12,324	12,840	12,653
固定負債	2,060	2,560	3,251	2,783	2,227
負債合計	**14,791**	**15,142**	**15,575**	**15,624**	**14,881**
（純資産の部）					
純資産合計	**3,404**	**3,994**	**4,531**	**4,376**	**2,712**
負債純資産合計	**18,196**	**19,136**	**20,107**	**20,000**	**17,593**

財務データ　連結損益計算書　５期推移

株式会社 一蔵

（百万円）

決算年月	2022年３月	2023年３月	2024年３月	2025年３月	2026年３月
売上高	18,567	19,747	20,429	19,932	19,446
売上原価	7,153	7,625	7,861	7,313	7,161
売上総利益	11,414	12,122	12,567	12,619	12,284
販売費及び一般管理費	10,904	11,568	12,301	12,496	12,414
営業利益	510	553	266	123	△129
営業外収益	161	44	99	33	130
営業外費用	46	27	33	50	86
経常利益	625	570	331	105	△85
特別利益	－	0	10	37	176
特別損失	111	16	56	123	1,424
税金等調整前当期純利益	513	554	285	19	△1,333
法人税等合計	△103	△43	△343	116	107
親会社株主に帰属する当期純利益	617	597	629	△96	△1,441

お問い合わせ

株式会社一蔵　財務経理本部　経営企画室

〒101-0041

東京都千代田区神田須田町２丁目５番　東京神田須田町ビル７階

TEL：03-5297-5151

E-mail : ir@ichikura.jp

【ご注意事項】

本資料にて提供されているデータや将来予測は、本資料の掲載日現在の判断や入手している情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。